# みんなの広場

## ～高校総体（インターハイ）特集～

### 男子バレーボール競技

▲所沢市実行委員会会長（市長）から文部科学大臣杯を授与される優勝チームの選手。
撮影／市民カメラマン・谷　亮

▲▶強烈なアタック、鮮やかなブロック、必死のレシーブ…。全国の頂点を目指し高校生たちが躍動します！
撮影／市民カメラマン・村田ひろこ（上）
同・池田敏明（右）

### バドミントン競技

◀▲男子チーム・女子チームともに高校チャンピオンを目指して白熱した試合が展開されました。
撮影／市民カメラマン・津田資雄（上）
同・塩野入好文（左）

▼バドミントン競技には、全国から延べ185校・1274人の選手たちが集まり、熱戦が繰り広げられました。
撮影／市民カメラマン・松﨑　満

## みんなのギャラリー

## みんなで楽しく エコ活動！

### 環境レポーター "エコちゃん" が行く

**～生ごみを楽しく上手に処理する方法をお伝えしています～**

*生ごみリサイクル推進員の皆さんに聞きました*

**◆推進員さんはどんな人たちなの？**

市民と市が協働して、家庭の生ごみの減量化・堆肥化を進めるため、市民・有識者ら13人が市から委嘱を受けて活動しています。

**◆どんな活動をしているの？**

市が開催する講習会に協力し、講師を務めたり、市民から寄せられる生ごみ処理の相談に応じます。また情報交換会や研修会、および各種イベントなどで、生ごみの減量化やリサイクルの啓発活動を行っています。

**◆昨年の活動は？**

各地区（７地区）で開催した生ごみリサイクル講習会の講師や相談スタッフを務めたり、エコロまつりや市民フェスティバルの会場で各種生ごみ処理機器を紹介したりするなど、リサイクルについて広く普及啓発に努め、また率先して行動しました。

**生ごみの約80%は水分なので「水切り」をしっかりしましょう！**

◎所沢市では、生ごみの減量化・資源化に自主的に取り組む方が生ごみ処理機器を購入した際に、生ごみ減量化・資源化推進奨励金（購入費の２分の１の金額で、限度額は１万円）を交付しています。ぜひ、ご利用ください。

問い合わせ　廃棄物対策課（☎2998-9146・FAX2998-9394）

### 皆さんからの写真や投稿をお待ちしています！

▶「みんなの広場」では、エッセイおよび市内で撮影した写真やイラストなどを募集▶写真には撮影日・場所・コメント（約60字）を明記▶エッセイはテーマにそって300字以内▶次のテーマは『秋の味覚』▶文章は添削あり▶締め切りは９月８日(月)必着▶掲載者には記念品を進呈
◎いずれも住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ〒359-8501並木1-1-1所沢市役所秘書広報課「みんなの広場」係へ郵送またはＥメール（アドレスhiroba@city.tokorozawa.saitama.jp）でご応募ください。

## はつらつ野老っ子

### 落語の魅力は世代を超えて

落語家　柳家喬之助さん（北秋津出身）

５月の番外・所沢寄席『柳瀬亭』でのこと。「皆様、どうぞ名前だけでも覚えてください。柳家喬之助と申します。実は、隠していましたが、所沢市の出身でございます！」会場は笑いと拍手に包まれました。今回ご紹介するのは、所沢市出身（北秋津小・南陵中卒業）、期待の落語家、柳家喬之助師匠（本名：加賀谷宗一さん）です。柳家さん喬に入門し、前座名『さん市』、二つ目昇進で現在の『喬之助』と改名、昨年（2007年）３月に真打に昇進されました。

喬之助師匠の活躍の場は広く、これまでも各地の小・中学校に伝統芸能鑑賞会の演者として呼ばれることも多く「伝統芸能だなんて、そんな大それたことはないですよ」と照れながら話してくれました。子どもたちとの交流を通じて「子どもには想像力も理解力も十分備わっている。ほとんどの子どもたちが生まれて初めて聞く落語ですから、話すのはとても楽しみな反面、責任を感じます」と真剣に取り組む姿勢を見せてくれました。

喬之助師匠が落語と出会ったのは、大学時代に先輩からもらったチケットで寄席に行ったのがきっかけです。平日の昼間に観客が14～15人しかいない劇場で「なんて、ぜいたくな遊びだ。この独特の空気感が心地良い」とその瞬間から喬之助師匠は落語を好きになったと言います。学生割引で毎日のように寄席へ通い、現在の落語家の先輩に「お前が見に来ているのは知っていたぞ」と言わせるほどでした。兄弟子との稽古で落語の難しさを痛感し「今も満足したことはなく、分かりやすく話すことを心がけている」と語ります。

笑いは元気の源です。喬之助師匠が再び所沢を笑いで包んでくれます。落語好きな人も、初めての人も、皆さん、ぜひお集まりください。

番外・所沢寄席『柳瀬亭』の様子

**公民館とミューズの共催事業　番外・所沢寄席**

◆『中央亭』…10月18日(土)・生涯学習センター
◆『新所沢亭』…平成21年２月22日(日)・新所沢公民館

◎申し込み方法などの詳細は、ミューズ（☎2998-6500）へお問い合わせください。

## 歴史再発見 ところざわの文化財

### 復元された戦国の城　～滝の城復元模型～

市内東部に位置する滝の城跡は、室町時代後期から戦国時代にかけて存在した中世の城跡で、土塁や堀、櫓台などが残ることから埼玉県の史跡として指定されています。しかしながら、現地を訪れると、土塁や堀跡などにその面影をしのぶことはできるものの、樹木はうっそうと生い茂り、堀には長い年月をかけて土砂が堆積し、本来の役割であったはずの「敵の侵入を防ぐ」には心もとない様相を呈しているのが実情です。もちろん建物もないため、中世の城跡とはいってもまさに「兵どもが夢の跡」です。

そこで地元の住民で組織された滝の城跡保存会の皆さんが「郷土の文化遺産をもっと知ってもらおう」と発案したのが、滝の城復元模型の作成です。戦国時代末期の滝の城の様子をこれまでの発掘調査などの資料を基に、できるだけ忠実に再現したもので、堀や櫓などが見事に表現されています。平成の世に鮮やかによみがえった「戦国の城」、現在は柳瀬公民館で公開展示されています。なお、現地の滝の城跡についても保存に向けて計画を策定しています。

滝の城復元模型

問い合わせ　文化財保護課（☎2998-9253・FAX2998-9128）

## 誰でもエッセイ

◆テーマ「暑さ対策」

### 簾と打ち水

久米・中島　津矢子

我が家の暑さ対策は簾と打ち水です。簾はレースのカーテンよりも日ざしを遮り、見た目も涼しげです。打ち水は風呂の残り湯を玄関前とベランダに朝夕２回まきます。マンションの角部屋（行き止まりで他家の通行の邪魔にならない）なので、壁面にもまいて外壁の温度を下げています。

梅雨が明けると、室内を風が抜けるようにしているため、日中も扇風機だけでなんとかしのげます。今年は、テレビで紹介されていたペットボトルに造花と水を入れて作る氷柱も試してみました。

### 昔はタライに井戸水

上安松・三村　絹代

一昔前は、井戸水をタライに入れてスイカを冷やし、軒下に風鈴を飾って縁台に座って親子でスイカをほおばりました。線香花火を楽しみながら、取りとめのない話に笑いあったものです。

最近は、風鈴もご近所に迷惑かなと思ったり、狭い庭にプールを作って孫を遊ばせるのも気がひけたりします。

今年の夏は、孫が風呂場で遊んだ後の湯を何回か体にかけて、ペットに横たわり扇風機を弱くして涼みました。

### 首スジ周りを冷やす！

北有楽町・荻野　幸雄

週１回のウォーキングと週３回のグラウンドゴルフをやっています。グラウンドゴルフは少年野球場を使うため、木陰がない炎天下のプレーです。熱中症対策を十分にしなければなりません。

前と後にヒサシのある帽子をかぶり、腰にペットボトルをさげ、半袖シャツにロング手袋で日焼けを防ぎます。また、特に大切なのは首スジを冷やすことです。

ホームセンター等で売っている戸外労働用の保冷スカーフが便利です。保水力を持続する特殊なスポンジが使われていて、水道水で濡らせば猛暑の中でもいつも首スジの周りを冷たくしてくれます。

グラウンドゴルフを４ラウンドしても、ウォーキングで２時間歩いても、いつまでも冷却効果があり、私にとって手ばなせない夏の一品です。

### 耳からの涼

和ケ原・山ノ井　義治

毎年、飼育箱で鈴虫の卵を孵化させている。お盆を過ぎるころには立派な成虫となり、「リーンリーン」と美しく鳴く。

一抹のもの悲しい哀愁を帯びた鳴き声は、ひと夏だけの命の挽歌を歌っているようにも聴こえる。

高く澄んだ鈴虫の音色、それは涼やかな一陣の風が吹き渡るようだ。